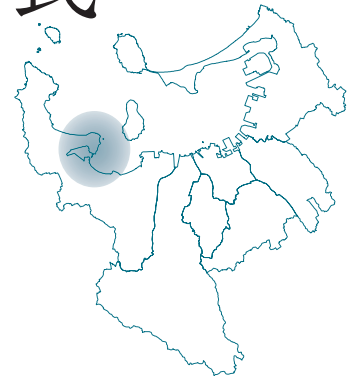


西区歴史よかとこ案内人
連絡協議会二〇周年

【記念講演会】

九州国立博物館館長

島谷弘幸氏



博多湾岸

「金印ロード」

西区の至宝に寄せて

「日本における

中国書法の影響」

司会 福岡市博物館館長 有馬 学

2018
3/2
(金)

時間 13時30分～15時30分
会場 福岡市博物館講堂

聴講無料。事前のお申込は不要です。
当日30分前（13時）から講堂前にて
受付いたします（定員240名）。

福岡市西区の誓願寺に伝来した栄西筆「誓願寺孟蘭盆縁起」
（国宝）が、九州国立博物館の特別展「王羲之と日本の書」（会期：
2月10日～4月8日）において公開されます。
これにちなみ、同館館長・島谷弘幸氏をおまねきし、書跡にみる
対外交流の歴史をふりかえるご講演をいただきます。
主催 博多湾岸《金印ロード》資源活用プロジェクト実行委員会
共催 西区歴史よかとこ案内人連絡協議会 協力 西区役所



福岡市博物館
Fukuoka City Museum

〒814-0001 福岡市早良区百道浜3丁目1-1
TEL.092-845-5011 FAX.092-845-5019
<http://museum.city.fukuoka.jp/>

西区歴史よかとこ案内人連絡協議会 20周年 西区の至宝に寄せて

博多湾岸

金印ロード



福岡市西区今津は、栄西との関わりが深い。日本臨済宗の祖、茶祖として名高い栄西は、2度、中国・宋に渡る。最初の入宋から帰国し、2度目の渡航まで足かけ15年、今津の誓願寺に身をよせ、多くの著作を執筆し、自身の思想を深めた。

偉大な仏教者の足跡、最大の国難を防いだ元寇防塁、点在する古墳群、剣・鏡・勾玉がセットで出土した弥生の“王墓”…西区には、悠久の時を超える歴史遺産がひしめき、それを守り伝えることに力を注ぐ人たちがいる。



【ごあんない】

西区歴史よかとこ案内人連絡協議会

会長 原 義弘

『西区歴史よかとこ案内人』は、福岡市西区の歴史や文化を広く市民に紹介することを目的としたボランティア団体です。平成10年、姪浜、野方、今宿、今津、能古島といった地区ごとに活動を初め、今年、20周年をむかえました。活動3年目からガイドの養成講座も開始。定期的ガイドツアーを年間15回以上行い、また、小中学生の地域や歴史の学びを助けたり、公民館やカルチャーセンター等からの要望に応じてガイドやレクチャーをすることもあります。メンバーは、毎月、定例会をもち、情報の交換、歴史の研修などに取り組み、また、各地を尋ねて、ガイドの仕方を学んでいます。

ふだん、何気なく通っている道でも、長い歴史の中で何かしらエピソードがあるものです。元寇防塁といった全国的に知名度のある史跡も、また、脚光を浴びることのなかった旧跡だけでなく、地元の人々が大切に守っておられるものも、あります。それらを広く知ってもらい、子どもや孫に伝承してほしい。そして、自分たちが暮らしを営んでいる地域をもっと好きになってほしい。こういった思いを持ちながら活動を行っています。

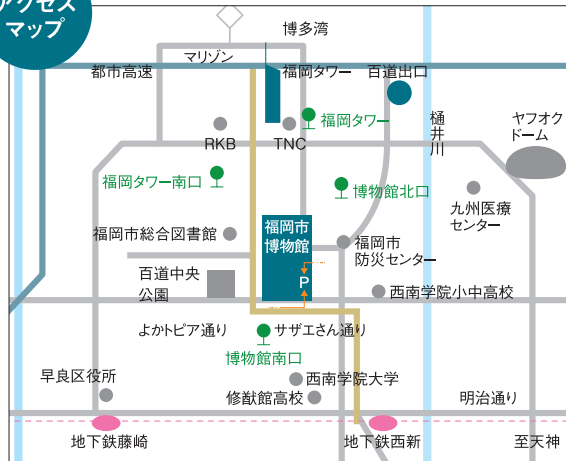
「西区の至宝に寄せて」は、博多湾岸《金印ロード》ツーリズム・プロジェクトの一環として開催します。このプロジェクトは、地域コミュニティ、さまざまな研究機関や団体と福岡市博物館が連携し、福岡・博多の歴史資源の魅力を、これまでにないかたちで発見・発掘・発信することを目的としています。国（文化庁）の「平成29年度 地域の核となる美術館・歴史博物館支援事業」採択事業です。



福岡市博物館
Fukuoka City Museum

〒814-0001 福岡市早良区百道浜 3 丁目 1-1
TEL:092-845-5011 FAX:092-845-5019
開館時間：午前9時30分～午後5時30分まで

アクセス
マップ



www.museum.city.fukuoka.jp